

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域住民の心を癒す「松木(まつき)渡場(どば)の桜」再生事業
事業主体 (連絡先)	山吹川原組合 0265-35-2596
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,580,260 円 (うち支援金: 1,248,000 円)

事業内容

(1) 専門業者による枯れ枝除去(4月3日)・テングス病除去(5月17日)、病害虫アメシロ防除および施肥講習講師文吾林工事課長北沢英二(5月22日)(11名参加)
 (2) 樹木医による学習会の開催・町制20周年(昭和48年)記念に植樹されて以来、山吹川原組合が管理してきた歴史も踏まえて4月3日の恒例の祭りの際に、構成員と地域の希望者を対象に現地学習会を実施した。(30名参加) 講師森田和申氏

- ①アメシロ防除薬剤散布6回実施(5/17, 5/22, 6/4, 6/7, 7/30, 8/7) 1回3人×6回延べ18人参加
- ②肥料材料を購入した。手入れの実践・60年の樹齢で高木の緑地管理実施
- ③6月16日に機械(動噴)を準備し、役員11名で7月3日に動噴使用講習会(講師有限会社原農畜具店代表原康夫氏8月に病害虫薬剤作業による防除作業を実施)
- ④業者の講習の下、適切な樹木手入れを行う・太い枝で支柱など必要な箇所は補強し、見学者、歩行者が安全に桜を見物できるようにした。(作業は組合役員11名)
- ⑤8月7日地域の住民に呼びかけ桜の木の間のアジサイの手入れや補植、草刈り、清掃、松木渡場愛好者と交流懇談しと公園への親しみや理解を広げた。(約20人参加)
- ⑥秋の学習会では、9月25日地元育成会や自治会にチラシなどで知らせ、桜の管理の学習や36災害から復興した「松木渡場」の歴史なども学習し、紙飛行機競技会も実施した。(参加人数17名)
- ⑦病害虫防除工事及び、枯れ枝テングス病除去工事完了(2月20日)

事業効果

地域住民と役員による手入れにより、高森町の環境整備・景観形成につながった。樹木医による講習会の実施により、一過性の手入れではなく、今後は自分たちで手入れできるように専門性のある知識を身につけることができた。
 桜の手入れ、周辺環境の整備を行い、通年は朝夕の散歩コースとして利用され、春は桜道に癒される、夏は清涼な小川で水遊びができ、地域の重要な多世代交流の場として活用された。

今後の取り組み

継続した再生対策が必要であることが明らかになった。子どもたちをはじめとした地域住民が、自然環境を学べる場所とするとともに、身近な水辺や自然環境に触れつつ、桜並木を含めて人々との交流が期待されることから地域住民と協力し合い桜の手入れやイベント等を継続して行いたい。



【桜施肥講習】

【目標・ねらい】

- ①桜の木の再生、病害虫の防除を川原組合員と、地域住民で協力し合い行う。
- ②専門家の指導により、桜の樹齢の延長やソメイヨシノ世代交代計画、などを旨とする。
- ③「憩いの場」へを目標に地域の協力の下にイベントなどを行う。
- ④松木渡場桜保護の集まりを地域自治会、育成会などの参加で組織してゆく

※自己評価【B】

【理由】

- ・紙飛行機競技会を実施して賑わいを作り出した。
- ・桜の手入れを行ったことにより遊歩道やサイクリングで訪れる人が増えてきた。
- ・また地域の文化財としての歴史も春祭りの折に伝えることが出来た。